

## お風呂がうれしい季節です。



一年で最も日が短くなる、冬至。

今年は12月22日（日）です。

冬至といえば、ゆず湯に入る方も多いことでしょう。

冬至を過ぎると日照時間が増えていくことから、

ゆず湯には、太陽からの運を取り込む前の

「禊（みそぎ）」の意味もあるとか。

身体を“清める”発想がDNAに刻まれていて、

それが日本人のお風呂好きに

つながっているのかもしれない。

冬至の頃、本格的に寒くなってくると

お風呂タイムがひときわ楽しみになりますね。

一方、日本の冬は、乾燥の季節でもあります。

清潔志向の日本では

入浴は“洗う”ことに重きが置かれていますが、

最近では「洗い過ぎ」の傾向が指摘されることも。

強い洗浄剤の使用やボディブラシなどによる過度な摩擦で

必要な皮脂まで失われてしまい、

肌の乾燥やトラブルを起こすことがあるようです。

冬になると肌のカサカサ、ガサガサ、かゆみなどに悩まされるという方、お風呂での身体の洗い方を見直してみませんか？

刺激の強いブラシやナイロンタオルを避け、洗剤を使わずに身体を清潔にする。最近話題のそんな入浴法におすすめなのが、和紙繊維のお風呂アイテムです。

天然の多年生植物を原料とする和紙繊維は、繊維に無数の孔がある多孔質構造。そのたくさんの孔で肌の汚れを絡め取って清潔にする自然の効果があり、せっけんやボディシャンプーを使わなくても、強くごしごし洗わなくても、古い角質まで落として滑らかな肌に導きます。

しかも、自然素材で肌にやさしく低刺激。皮脂を取り過ぎることもありません。

キュアテックスには、お風呂で役立つ洗顔クロス、バスミトン、ウォッシュタオルなどの和紙繊維アイテムが揃っています。

もうひとつ注意したいのが、お風呂上りの肌はとても乾燥しやすい状態だということ。

入浴中に含んだ水分が皮膚表面からどんどん蒸発するので、なるべく早く身体の水 droplet を拭き取りましょう。

とはいえ肌が敏感になっている状態ですから、強くゴシゴシ拭くのは禁物。吸水性の高いタオルで、包み込むように水分を吸わせるのがポイントです。

その点、和紙繊維は吸水性に優れ、お風呂上りの肌にもやさしい自然素材。バスタオルやフェイスタオルなど、乾燥肌や敏感肌の方にも安心してお使いいただけます。

和紙繊維を上手に活用してお肌を健やかに保ち、冬のお風呂タイムを存分に楽しんでくださいね。